

昭和十七年十月一日
昭和十七年十月三日

第二十四特別根據地隊

一 経過

(一) 一般情勢

前月下旬ヨリ本月上旬ニ掛ケタニバルアル諸島部隊ノ増強ヲ
實施各占領地域ノ戡定復興及治安ノ確保ニ努ムルト共ニ敵ノ
策動ニ對シ嚴戒中ニシテタニバルアル諸島ニ陸軍部隊増強計
由中ナリ

(二) 敵軍ノ情勢

濠洲方面ニ於ケル敵ハ飛行機ヲ潜水艦ヲ以テ當方面ニ機動ヲ續
ク傍濠洲北西岸ニ兵力ヲ準備シ反撃態勢ヲ次第ニ強化シ
ツアルモノ、如シ東ニシテギニア方面ニ於テハ相喪ラズ兩軍鎗ヲ
削リ死闘ヲ繰返シツアリ

0313

敵航空機出現状況

月日	時刻	場所	機数	戦果	備考
十月四日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
五日	一〇四五	トアール	一	一	没跡セズ
六日	一〇四〇	ブラ	一	一	没跡セズ
八日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
九日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十一日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十二日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十三日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十四日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十五日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十六日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十七日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十八日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
十九日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十一日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十二日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十三日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十四日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十五日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十六日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十七日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十八日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
二十九日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
三十日	一〇四五	サムラギ	一	一	没跡セズ
計			三	三	

0314

敵潜水艦出現状況

月日	時刻	場所	被害船	戦果	記事
十月十一日	一四五	アンボン灯台ノニヤ度五里	アンボン灯台ノニヤ度五里	戦果一	爆撃機四機ノ襲撃ヲ受ケテ沈没ス

作戦指導

1. 各担任地区ノ警備ニ任ズルト共ニ各地區毎ニ裁定作戦ヲ實施シ治安確保並ニ軍政ノ徹底ヲ期ス
2. 情勢緊迫ト共ニ前進基地トシテノアンボン港ノ價值増大ニ伴ヒ港内ノ安全諸施設ノ完備ヲ期シ着々準備ヲ進ム
3. 陸軍部隊ヲモルタクニ進駐スルコトナリ各地兵カラ整頓強化シ協同防衛ニ任ズ

0315

三任務編制

中任務

前月ニ合ジ

(四) 編制 其ノ一

第二十四特別種別							區分		員數	主要兵器	記事
工機科	通信科	備三	警三	水上	陸警	司令部	陸警	司令部			
二	一	一	一	四	五	九	一	一	九		
七八	三五	一九	一九	九五	一七一	七〇	三四〇	五	一六		
八〇	三六	二〇	二〇	九九	一七六	九五	三五六	計			
							主要兵器		記事		

0316

其
7
二

0317

[illegible]

は.

ア								區		
警 上 陸									司 令 部	
防	隊			衛			本 部			
ベンテ高角砲名	バンダネラ	ツバオ	テアール	ラトハラ	ヒトラマ	ハロン派遣隊	ガラ、收容所			
三	一	、	、	、	、	、	一	九	九	准士官以上
八一	二三	二〇	九	七	一一	一一	三九	二一〇	七〇	下士官兵
、	、	一	、	、	、	、	、	四	一六	其、他
八四	二四	二一	九	七	一一	一一	四〇	二二三	九五	計
										記 事

配
備

0319

ホ												
計	第三十六航空隊	第二十四通信隊	主計科	醫務科	機関工作科	通信科	水上警備科			計	隊	空
							水警(義務補給)科	一〇二驅香特務艇	一〇三			
六七	一八	九	二	四	二	一	一	一	四	二五	一	一
二一六五	一三六	一三一	五八	一三	七八	三五	一九	一九	九五	五八一	五〇	四〇
二三		予學								二一		
一二五五	一五四	一四二	六〇	一七	八〇	三六	二〇	二〇	九九	六二七	五一	四一

0320

56.

合	ルモサ	ニギハヤヒ						諸島			
		計	テルナード	バボ	フアク	ブラ	マクワリ派遣隊	計	トアール	ドボ	サムラギ派遣隊
一六三	六五	一二	二	一	二	一	六	一九	三	七	九
四〇七二	一八二七	四三六	五〇	七五	七三	四九	一八九	六四四	九四	二三〇	三二〇
一九	六	四	一	一	一	一	一	六	四	一	一
四二七四	一八九八	四五二	五三	七六	七六	五一	一九六	六六九	一〇一	二三八	三三〇
タニバル諸島派遣隊											

0321

二人員ノ現状

職員官氏名

職主	務	官氏名	記事
司令官		少將 畠山耕一郎	
参謀長		中佐 志柿謙吉	
参謀副長		醫少佐 有賀進	
軍医長	第四分隊長	大尉 津田威徳	
副官兼参謀		大尉 溝口進	戦死
参謀	第三分隊長職務代理	大尉 安藤登	
隊分隊長	衛生部科長職務執行第一分隊長	大尉 水上浩	
主計長	第五分隊長	主計長 中川建一	
隊分隊長	防空隊長	特中尉	
同	新タリ派連隊指揮官	同 三枝八郎	
同	水工警備科長職務執行第二分隊長	中尉 齋藤暉	67才

0322

ナ
ナ

自昭和十七年十月一日 第二十四特別根據地隊戰時日誌
至昭和十七年十月三十日

一 概 過
一 般 情 勢

豪洲北西岸ニ於ケル敵兵力、強化ニ對シハ、スダ列島
及ダニバル諸島アル諸島、直接防衛ハ主トシテ陸
軍之ヲ擔任スルコトナリ、チモール島ニ師團長、指揮ス
ル五箇大隊ダニバル諸島ニ歩兵一大隊アル諸島ニ一
中隊ヲ駐屯シ海軍ハ航空兵力ヲ以テスル防衛ヲニシ
バル諸島ニ於ケル通信並ニ連絡敵航空機ノ跳梁海
面ニ於ケル陸軍部隊ノ輸送及之ニ對スル補給ヲ擔
任スルコトナル
敵軍ノ情勢

0324

敵ハ豪洲北部、兵カラ増強シアルモノノ如ク、且我軍ノ
 ケイ「タニバル」アル諸島前進以來對豪進攻ヲ予想
 シテモール及右方面ニ於ケル我軍ノ動靜ニ對シ極メ
 テ警戒ヲ嚴ニシ来ル前月以來敵飛行機ハ専ラ同方
 面ニノミ出現シ我意圖ノ探知ニ努メアリ

敵飛行機出現狀況

日	時刻	場所	機数	戦果	記	事
二	〇九〇三	デリー	一スアタカニ 九	ナシ	市街地數十発投擲	
三	一〇二五 一〇三〇	デリー	一〇	撃墜 二 (空軍機二)	市街地外ニ發擲數十発我軍機 機ヲ墜落ニシ兵亦數死	
四	〇八五二	デリー	八	ナシ	市街南方ニ發擲多數	
六	一〇九一 一〇一〇	サムラギ	發各一	〃	投擲ナシ	
十二	一〇〇九 一〇五二 一〇五五	サドムアル ラヤ	各一	〃		

0325

[illegible]

0326

第四十二第						區	
本						分	
司令	陸警	陸警	防空	水上	水陸	員	數
部	隊	隊	隊	科	科		
一〇	一三	一七〇	一三三	一	一	一	一
五二	三七	一七〇	一三三	一	一	一	一
四四	三	一	一	一	一	一	一
一〇六	三八三	一七五	一三三	一	一	一	一
前月ニ全ジ						主要兵器	
						記事	

(一) 任務 編制 配備 作戰指導
 (二) 任務
 (三) 前月ニ全ジ
 (四) 編制
 其、一、

0327

日	分	艦	船	部	隊	行	動
三	十	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二	九	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
一	八	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二	七	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三	六	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四	五	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五	四	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六	三	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七	二	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八	一	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
二十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
三十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
四十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
五十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
六十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
七十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
八十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十一	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十二	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十三	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十四	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十五	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十六	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十七	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十八	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
九十九	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ
一百	〇	ニ	ボ	ン	ア	ニ	ボ

四参
下艦船部隊行動

自昭和十七年十二月一日
至同年十二月三十日 第二十四特別根據地隊

一 経過

一 一般情勢

ソロモン諸島東部「ニーギニア」方面ニ於テ被我主力拮抗シ敵ハ此ノ
間隙ニ乘ジテ西部「ニーギニア」並ニ東部方面ニ反攻一與テ頻勢カ回復
ヲ計ラントスル情報アリ我ハ海陸軍協同シテ之ガ防衛制止ニ仕ジ敵蠢動
ノ餘地ナカラシメントス之ガ爲前月末陸軍部隊ハ小「スガ」ナモール島「タニ
ンバル」アル諸島ニ進出直接防衛ノ任ニ就キ海軍ハ航空部隊ニ依ル防
衛通信連絡陸軍部隊ノ輸送補給支援ヲ擔任ス

二 敵軍情勢

オーストラリア北部ノ敵ハ前月ニ引續キ兵力ヲ増強シツアリ情報アリ敵ハ「
ロイ」タニバル諸島「ナモール」島方面ニ對シ飛行警戒ヲ行ヒツアリ
以下旬當方面ニ對スル敵潛ノ跳梁繁ク當方面海上交通破壊ヲ策ス

ハ敵ハ「ミニーギニア」ニ兵カヲ増強當方面ニ反攻スベク南部「ミニーギニア」及東部「ミニーギニア」ウエワ「方面」ニ進出飛行場整備中ナルモノ、如シ
 ④濠洲ヨリ當方面ニ密偵ヲ侵入セシメツ、アルモノ、如シ

敵飛行機出現状況

日	時刻	場所	機数	戦果
十二月二日	・八・二	クーパーパン	双發五	撃墜一機、撃破一機、未詳一機
三十一	・九五・〇	サムラギ	一	十シ
二十三	一・一・〇・〇	ド	三	〃
二十五	・六・三・五	ミミカ	一	〃
計			一〇	一

我方水偵一機、火上機、死傷二機、捕虜一機、未詳一機、共六機

敵潜水艦出現状況

日	時刻	場所	隻数	戦果	記	事
---	----	----	----	----	---	---

0330

九	二〇〇〇	トアール北方湾口	浮上	ナ	シ	約十台、破壊後、燃焼
六	二〇〇〇	アール附	不明	ナ	シ	第五艦隊、南洋方面、艦隊、電令、作、第五十
三	二三五五	友鶴山(星丸)	浮上	ナ	シ	友鶴山(星丸)が、敵艦、沈没、発見、大、敵艦、沈没、発見、大、敵艦、沈没、発見、大
二	一六〇五	アンボ、聯合、五、五、十六、運、陸軍、輸送、船、団	潜没	ナ	シ	大、敵艦、沈没、発見、大、敵艦、沈没、発見、大、敵艦、沈没、発見、大

三 任務 編制 配備 作戦指導

一 任務

二 一般任務

密南西部隊命令、作、第一號、依、東、印、部隊、東、部、警、備、部隊、ト、シ、テ、人、担、任、域、防、備、警、戒、2、海、上、交、通、保、護、3、ア、ラ、ラ、海、西、部、ニ、エ、ギ、ア、捜、索、偵、察、4、敵、艦、船、攻、撃、5、敵、海、上、交、通、破、壊、ニ、任、ス

三 特別任務

1、十月六日、乃至、十日、對、空、對、水、上、特、別、警、戒、2、南、西、方、面、艦、隊、電、令、作、第、五、十、三、號、依、ハ、本、進、出、第、二、十、三、航、空、戰、隊、飛、行、機、隊、西、部、ニ、エ、ギ、ア、北、部

62

五餅制

艦隊區分
南方面艦隊 第二南遣艦隊 第二十四特別根據地隊
南西部隊 東部隊 東部警備部隊

其

區分

員	准	以上	下主官矢其，他	款
---	---	----	---------	---

一

主要兵器

記事

四參赤
一麾下

[illegible]

0333

自昭和十八年一月一日
至昭和十八年一月三十一日

第三十四特別根據地隊戰時日誌

一、経過

(一) 殺情勢

(1) 彼我ノ主力ハ依然トシテ東部ニ集ギヤ方面及印緬國境

方面ニ於テ對抗シアリ

(2) 當隊ハ、テモール島、アル・グレイ、タニバル諸島、ミカ、録ヲ確

保シアリ

(3) 陸軍第十六軍、杉浦部隊ハ當隊第一線ノ要点ノ陸上防

衛ヲ担当ノ爲進出中ナリ、當隊ハ前月引續キ同隊

ノ進出ヲ極力推進援護シツ、アリ

(二) 敵軍ノ情勢

(1) 敵ハ前月引續キ豪洲北部ニ兵力ヲ増強シツ、アリトノ情

報アリ

(2) 當隊前面一帯ニ亘リ敵機ノ跳梁甚キモ、アリ敵ハ我索

制作戦ニ關聯北豪方面ニ有力ナル航空兵力ヲ移動集中シ

64.

ツ、アルモノ、如シ

(1) 北部壕溝、並ニ南西、三、一、ギヤ、ノ敵情、左ノ如シ

(2) ポートダーウィン、ニ、二、日、飛行偵察、ニ、依、レ、バ、附近、飛行場ヲ
 合シ、大型機、一、九、小型機、三、在、泊、艦、船、六、〇、〇、屯、級、商、船、二、
 五、〇、〇、屯、級、商、船、二、四、〇、〇、屯、級、商、船、三、二、〇、〇、屯、級、商、船、四、
 其、ノ、他、小、舟、艇、多、數、アリ

(3) タナメラ、飛行場偵察、ニ、依、レ、バ、滑、走、路、約、九、〇、〇、米、×、一、〇、〇、米、同
 北、側、ニ、住、宅、約、一、〇、〇、工、場、六、海、岸、ニ、積、橋、一、小、型、内、火、艇、一、
 其、ノ、他、飛、行、機、人、影、ヲ、認、メ、ズ、情、報、ニ、依、レ、バ、守、備、兵、九、〇、〇、ナリ
 メ、ラ、ウ、ケ、飛、行、偵、察、ニ、依、レ、バ、艦、船、在、泊、ヲ、認、メ、タ、ル、コ、ト、アリ
 飛、行、場、ハ、特、ニ、変、化、ナ、キ、モ、滑、走、路、ハ、爆、撃、ノ、都、度、修、理、シ、アリ
 對、空、砲、火、熾、烈、ナリ、市、街、ハ、第、九、三、四、航、空、隊、ノ、水、偵、ノ、爆、撃
 ニ、依、リ、三、分、ノ、一、破、壊、ス、情、報、ニ、依、レ、バ、守、備、兵、力、六、〇、〇、ナリ
 敵、ハ、前、月、末、セ、ラ、ム、島、ニ、着、水、艦、ヲ、以、テ、大、尉、一、外、イ、ン、ド、ネ、ヤ、
 兵、七、密、偵、ヲ、揚、陸、電、信、機、偽、造、軍、票、ヲ、携、行、着、入、ヲ
 企、テ、タ、ル、モ、全、部、之、ヲ、逮、捕、ス

0335

敵航空機出現状況

月日	時刻	場	機数	戦果	記事
一月廿	〇八四五 一〇四〇	サムラギ	双発一		投弾ナシ
三	〇七五八 一〇四七	クレーパン	双発一		〃
五	〇八〇七	デリー	双発一		〃
六	〇七五六 〇九四五 一〇四四	クレーパン 北方六型 友鶴	双発一	機を便に撃墜 二機墜落 機を便に撃墜 機を便に撃墜	〃
七	〇七四〇 一〇四〇	クレーパン 友鶴	双発一	機を便に撃墜 機を便に撃墜	〃
十一	一〇二〇	ドボ	双発一	機を便に撃墜	機を便に撃墜
十四	〇七五五	クレーパン	一		投弾ナシ
十五	〇七五八	クレーパン	一		〃
十六	〇七五八	クレーパン	一		〃
十八	一〇二五	ミミカ	一		投弾ナシ
十九	〇九一五	トアール	一		投弾ナシ

0336

敵省水難出現狀況

月日時刻	場所	被害船舶	結果	記
一月廿一日四三	アボシ灯台ノ三度八里	名取	不明	被害船 伊豆丸 (伊豆丸) 三度八里 原因 九若丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 被害 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 結果 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸
二月廿八二五	アボシ灯台ノ三度八里	名取	不明	被害船 伊豆丸 (伊豆丸) 三度八里 原因 九若丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 被害 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 結果 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸
計				被害船 伊豆丸 (伊豆丸) 三度八里 原因 九若丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 被害 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 結果 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸 伊豆丸

0338

(三) 任務、編制、配備、作戰指導

(一) 任務

一般任務

機密南西部隊命令作第一號ニ依リ東印部隊東部警備
部隊トシテ、担任区域防備警戒、²海上交通保護、³アラフラ海
西部ニテ、⁴搜索偵察、⁵敵艦船攻撃、⁶敵海上交通破
壊ニ任ズ

(二) 特別任務

1. 前月ニ引續キ當方面轉進中ノ陸軍杉浦支隊ノ輸送並ニ
護衛

2. 前月ニ引續キ南西方面艦隊機密第一三三〇七番電(十
二月)ニ依ル南部「ニギヤ」タナメラ地域及「スネーウ」山麓ノ飛
行偵察

3. 前月ニ引續キ第十九設營隊ヲ以テ「ホーランドヤ」「ワリタイ」飛行
場急速造成(二月十八日)整備担任官ヲ第三十五特別司令官ニ
改メラル

0339

區		分		員		數		主要兵器		記事	
				准官以下官兵其他		計					

4 第二南遣艦隊電令作第一号一月四日依り第三十五特別根據地
 隊ノ警備担任区域ヲ陸上旧蘭領「エーギヤ」(南緯四度線
 ラカヒヤ湾以南以東ヲ除く)海上「ラカヒヤ」湾「カウエ」島ニ至
 ル沿岸並ニ東經一三〇度及東經一四一度間南緯〇度以南
 ノ海面ト定メラル當隊ハ一月十五日迄右区域ニ関スル現任
 務ヲ續行セシメラル
 5 昨電令作第四四五號及南西部隊電令作第六四號ニ呼
 應索制作戰實施
 (1) 艦隊區分 南西方面艦隊 第二南遣艦隊 第三十四特別根據地隊
 (2) 軍隊區分 南西部隊 東印部隊 東部警備部隊
 (3) 隊ノ編制區分
 其ノ一 (陸上部隊)

0340

第 二 十 四 特 別 根 據 地

本 部											
司 令 部	陸 警 衛 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊	水 上 警 備 隊
九	一八	五	四	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	四九四	一六七	九一	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
四四	六	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
一〇三	五一八	一七二	九五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
前月二同											

0341

[illegible]

67

第二十四特別根據地隊戦時日誌

第二十四特別根據地隊

功績調査部長殿
第二十四特別根據地隊機密第三號ノ六
自昭和十八年二月一日
至昭和十八年二月二十八日

二月二十八日提出



18. 7. 7
接受

0343

一	経	過
二	人員	現
三	令達	報告等
四	参	下艦船部隊行動
五	作戦経過概要	

目次

(目次終)

0344

自昭和十八年二月一日
至、十八年二月三十一日

第二十四特別根據地隊戦時日誌

一、経過

（一）一般情勢

南東方面ニ於テハ「ガダルカナル」ヲ中心トシテ彼我主力ヲ以テ抗爭ヲ續ケツ
ツアリシモ我ハ同島後方ニ展開ラアシガタルカナル島ノ撤退ニ成功セリ
南西方面ニ於テハ南東方面ニ呼應互ニ警戒ヲ嚴ミツ、兵力ノ逐次増
強ニ努ムツアリ

（二）敵軍ノ情勢

- （イ）敵ハ東印シンドギヤ方面ニ全カヲ注グト共、豪洲北西部ニ相當兵力ヲ集結且
隠密裡ニシンドギヤ旧英蘭國境線附近ニ兵力進出ヲ企圖シタルモノ如シ
- （ロ）當隊前面一帯ニ對シテハ前月ニ續キ敵機ノ跳梁繁ク當方面
海上交通、補給路ノ遮断ヲ策ス

70.

0345

1809349 1309349 240 449
南西ニギヤノ敵情左ノ如シ

タナメノ

十日飛行偵察ニ依ル

秋橋附近ニ積荷中ノ河用艇約百隻ニ達ス

スボート一隻ドラム缶約百ヲ認ム飛行場滑走路ハ約五十米間隔ニ津材及藁使用不能

英務所一棟電信所一棟無線電柱(鉄製約三米)ニ本滑走路ノ約一〇米ニ彈藥

庫一棟燃料庫ラキモノ一人員作業中ノ土人約三〇名住宅ニテ數認メシモ柳

子林ニ遁走セリ工場住宅ハ閉鎖アリ住宅ノ北東方丘ニ氣象観測所ラキ

彈物若干アリ防禦砲火ヲ認メス二十五日飛行偵察ニ依ル秋橋下流ニ

ハスボートアリ市外ニ土人ヲ認メス事務所及工場附近ニ約五〇名認ム

ソフケ) 十日飛行偵察ニ依ル飛行場滑走路中央其附近約百米ハ水

溜リ飛行場使用困難商人影其地車轡ヲ認メス秋橋附近変化ナキモ

土人舟艇四隻對岸上流舖泊市街中央附近ハ殆ド破壊アリ東側家屋

ハ完全ナルモノ多シ防禦砲火ヲ認ム 十九日偵察ニ依ル秋橋上流五〇米

附近ニコシヤノ四隻小型汽船ニ隻ヲ認ム滑走路附近ニ介ノハ水溜トナ

リ多數ノ積荷アリ其地前回ト変化ナシ

0346

(一) 敵飛行機出現状況

日	時刻	場所	機数	結果	記
一日	〇九〇〇	バンダネラ	双機	ナシ	投弾セズ
二日	一〇二八 一〇三七 一〇三〇	ミミカ	双機	ナシ	投弾セズ 敵機被弾一機
三日	〇八二二 〇八三七 〇八四〇	ミミカ	双機	ナシ	投弾セズ 敵機被弾一機
四日	一〇四五	サムラギ	一機	ナシ	投弾セズ
五日	一〇五〇 一〇五五	バンボ	双機	ナシ	投弾セズ 敵機被弾一機
六日	一〇五五	トアル	一機	ナシ	投弾セズ
七日	一〇四〇 一〇四五	バンボ	双機	ナシ	投弾セズ 敵機被弾一機
八日	〇八二〇 〇八三〇 〇八四〇	バンボ	双機	ナシ	投弾セズ 敵機被弾一機
十日	一〇二五 一〇三五	トアル	三機	ナシ	投弾セズ 敵機被弾一機
十一日	一〇三〇 一〇三五	バンボ	一機	ナシ	投弾セズ
十二日	一〇三〇 一〇三五	バンボ	一機	ナシ	投弾セズ

0347

日	時刻	場所	艦名	撃果	備考
十四日	〇九三八	トアール	双	一	ナシ
十五日	〇九一五 〇九二五 〇九三五 〇九四五	ドボ デリー デリー	双	一	ナシ
十六日	〇九二二	デリー	双	一	ナシ
十七日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
十八日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
十九日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十一日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十二日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十三日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十四日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十五日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十六日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十七日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十八日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
二十九日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
三十日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
三十一日	〇九二五	デリー	双	一	ナシ
計					

0348

70.

(三) 任務 編制 配備

(1) 任務

(a) 一般任務

機密市西部隊命令第一號依り、東印部隊東部警備部隊トテノ

1. 担任区域防備警戒

2. 海上交通保護 3. アラフラ海西部「ミロギヤ」ノ搜索偵察

4. 敵艦船攻撃 5. 敵海上交通破壊ニ任ズ

(2) 特別任務

1. 前月引續キ當方面輸送中ノ陸軍杉浦部隊ノ輸送並ニ護衛

2. 前月引續キ南西方面艦隊機密第一三三三ロヒ香電(十月一日)依

ル南部「ミロギヤ」タナメラ地域及スノウ山脈山麓ノ飛行偵察

3. 東印部隊電令作第六二號陸軍五師團兵力一部ノスラバヤ「カ

イマ」間急速輸送実施對空警戒

211

3.

0349

4 東印部隊電令第五九號 依ルソロン進駐
 5 前月引續キ南西部隊電令第六二號 依ル索制作戦(水復
 ヲ以テ南西、エーギヤ及アラフラ海方面ノ哨戒強化及敵艦船捕捉
 以密)

6 デミカ飛行場急速造成

(ミミカのESK 8)

(四) 編制

- 1 艦隊區分 南西方商艦隊 第二南造艦隊 第三四特別根據地隊
- 2 軍隊區分 南西部隊 東印部隊 東部警備部隊

0350

[illegible]

自昭和十八年三月一日
至昭和十八年三月三日

第三十四特別根據地隊

一 経過

(一) 一般情勢

戦局ハ前月以來稍固着ノ情况ナルモソノ方面ニ於テハ彼我
航空戦力發ニシテ敵ノ増勢顕著ナルモアリ。亦北方ニ於テハ
下旬米艦船蠢動シ彼我艦艇交戦セリ

當方面ニ於テ海陸軍協同シ陸軍部隊ノケイ護固カイマ
ハ進撃ヲ促進スト共ニ全方面ニ對スル輸送ノ補給ヲ強化續
行ニシ、アリ

(二) 敵軍ノ情勢

敵ハ航空兵力ノ大部分ヲ豫州北東部及ニエーギヤノ南東方
面ニ集結シソノ群島方面ノ我重要地艦船ノ偵察攻撃

14.

0352

ヲ企圖シアルモノ如シ

(四) 西部「エーギヤ」アル「ゲイ」タニバル諸島チモール島方面ニ對スル敵機ノ偵察爆撃今月「エール」及ビー層若衆ヲ極メ米襲回数六四回機数延ニ三八機ヲ算スル狀況ナリ

(五) 敵潜水艦亦前月同拂跳梁甚ク當方面海上交通ノ破壊ヲ策ス

(六) 敵ハ豪洲西北部方面ヨリ當方面島嶼ニ對シ潜水艦飛行機ニ依リ密偵ヲ上陸セシメツ、アリ

0353

敵飛行機来襲状況

日	三	四	五	七	八	十	十二	十三
時刻	一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇	一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇	一〇八〇 一〇三〇 一〇三〇	一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇	一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇	一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇	一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇	一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇
場所	トアール	サムラキ	サムラキ	トアール	サムラキ	サムラキ	サムラキ	サムラキ
機数	八五	三	三	三	三	三	三	三
結果	無敵	無敵	無敵	無敵	無敵	無敵	無敵	無敵
記事	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五	機群一五 機群一五

0354

0355

(三) 任務 編制 配備 作戰指導

(四) 任務

1. 一般任務

機密南西部隊命令第一號ニ依リ東印部隊東部警備部隊トシテ
(一) 担任區域防備警戒ニ海と交通保護のアラフラ海西部ニシロギニアノ搜索
偵察(四) 敵艦船ノ攻害(四) 敵海と交通破壊ニ任ズ

2. 特別任務

(一) 前月引續キ當方面転進中ノ陸軍第五師団ノ輸送並護衛

(二) 前月引續キ南西方面艦隊機密第一三三〇七番電(十一月十一日)

ニ依ル南部ニシロギニアノタケラ、ムラウケ地域偵察並攻害

(四) 編制

(一) 艦隊區分 南西方面艦隊 第二南進艦隊 第三四特別根據地隊

(二) 軍隊區分 南西部隊 東印部隊 東部警備部隊

0357

[illegible]

四 參 赤
(一) 蹙下 艦 船 部 隊

0358

自昭和十八年四月一日
至昭和十八年四月三十日

第二十四特別根據地隊戰時日誌

一、経過

一、一般情勢

此處數ヶ月間一般戦局ハ概ネ膠着状態ニシテ主力ハ南
東方面ニ於テ對峙シ、東印方面ニ於テ互ニ警戒ヲ嚴シ
ツ、兵力推進ノ機會ヲ覘ヒツ、アリ
ビルマ方面ニ於テモ東印方面ニ同ジ

二、敵軍ノ情勢

(1) 敵ハ「ガタルカナル」島撤退作戰ニ對スル當方面素制作戰以來
當方面ニ注目シツ、アリシ處漸次陸軍部隊ノ當方面進駐
ヲ探知シ警戒ト共ニ妨害ヲ策シ當隊前面ヘノ敵機未襲、
ハ本月中ニ六回延機數ニ一機ニ及ベリ

0359

(四) 敵ハ飛行基地ヲ豪洲北部及南西部「エーギニア」方面ニ
 遂次増強推進シ西「エーギニア」ニ進出ヲ策スルト共ニ「チモール」
 「タニバル」方面ノ隙ヲ覘ヒツ、アルモノ、如シ
 (ハ) 通信情報ニ依リバ敵警戒艦艇近時豪洲北岸ニ出現ス
 敵潜水艦ハ當隊方面ニ出現スルモノゾノ概ネセレベス「西岸」及
 南岸方面ニ多ク跳梁シツ、アリ

0360

29

敵飛行機出現状況

七	六	五	三	一	日
一〇一 九九 五五 〇〇	一〇九 二五 〇五	三二〇 五二四 〇五〇	一〇六 四三 五〇	一〇七 一〇八 五〇	時刻 場所
トサ アム ー ル	サド ム ア キ	ドカ ミ ー ボ ナ カ ル	サ ム ラ キ カル	サ ム ラ キ	機数
〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃	戦果
ナ シ	ナ シ	ナ シ	ナ シ	ナ シ	記
ナ シ	ナ シ	ナ シ	ナ シ	ナ シ	事

008

0361

[illegible]

80

十六	十五	十四	十三
一四三二一 五五三二一 五五三二一	一四三二一 五五三二一 五五三二一	一四三二一 五五三二一 五五三二一	一四三二一 五五三二一 五五三二一
ド カ イ マ ナ ボ	ド カ イ マ ナ ボ	ド カ イ マ ナ ボ	ド カ イ マ ナ ボ
翠 六	翠 六	翠 六	翠 六
ナ シ	ナ シ	ナ シ	ナ シ
機銃掃射 セズ ナ（航空燃料・航空機）	機銃掃射 セズ ナ（航空燃料・航空機）	機銃掃射 セズ ナ（航空燃料・航空機）	機銃掃射 セズ ナ（航空燃料・航空機）

0363

[illegible]

[illegible]

0365

[illegible]

(一) 任務・編制・配備・作戰指導

小 任務

一 一般任務

機密南西部隊命令作第一號ニ依リ東印部隊東部
警備部隊トシテ、担任區域防備警戒ニ海上交通保護
ヲアラフラ海西部隊ニエーギニアノ搜索偵察、敵艦船ノ攻害
ノ敵海上交通破壊ニ任ズ

(二) 特別任務

ノ前月ニ引續キ(機密東印部隊電令作第七號)アラフラ
海敵艦船索敵攻害及西部「エーギニア」要地南部「エー
ギニア」偵察攻害ノ強化

ノ前月ニ引續キ當方面轉進中ノ陸軍堅集因ノ輸送並ニ

護衛

0367

3. (機密東印部隊電令作第五子) 航空機ヲ以テ前項要
地ノ偵察及監視ヲ嚴メルト共ニヤマム敵基地ノ撃破

(4) 緋制

(1) 艦隊區分

南西方面艦隊

第二南遣艦隊

第三西特別根據地隊

(2) 軍隊區分

南西部隊

東印部隊

第四警備部隊

(3) 隊ノ緋制區分

0368

<http://www.jacar.go.jp/>